

社会資本総合整備計画

事後評価報告書

計画名称：赤羽台周辺地区における良好な
住宅市街地の整備

平成29年4月

東京都・北区

社会資本総合整備計画（住宅市街地総合整備事業） 事後評価書

平成 29年 4月 7日

計画の名称	赤羽台周辺地区における良好な住宅市街地の整備																													
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度（5年間）			交付対象	東京都・北区																									
計画の目標	赤羽台団地の建替により、敷地の高度利用及び居住水準の向上を図りつつ、都心への近接性を活かした良質な市街地住宅を供給するとともに、地域の骨格となる道路・公園の整備を総合的に進める。また、ファミリー層の流入を促進するため、活力と魅力ある美しい市街地環境の形成及び快適で安全な居住環境を創出していく。																													
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽化の進んだ既存建物を建て替えて、居住水準を向上させるとともに、子育てのしやすい環境を整備し、ファミリー層の定住化促進を図る。 ・団地建替えによる人口の増加を見越し、最寄駅である赤羽駅前に駐輪場を整備して、放置自転車を減らして美しい市街地を形成する。 ・団地建替にあわせて周辺道路を整備し、バスの連続的な相互通行、自転車・歩行者通行の安全性を確保するとともに、駅前周辺道路の交通量負荷の軽減を図る。 																													
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="3"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="3">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値</th> </tr> <tr> <th>(H23当初)</th> <th></th> <th>(H27末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 自転車・歩行者通行の安全性を確保するための歩道幅など、バリアフリー化された道路の割合を算出する。 道路のバリアフリー化率=(27年度の道路整備延長)/(最終目標の道路整備延長300m) (%) ※北区基本計画2010で、赤羽台団地の建替えに合わせた周辺道路の目標整備量を定めている。</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td>※バリアフリー化された道路：車いす同士がすれ違える、歩道幅員2m以上を確保した道路と定義する。 ※赤羽台のもり公園整備事業による、地区内人口一人当たりの公園面積。7.24㎡/人→8.31㎡/人(効果の発現は次期計画)</td> </tr> <tr> <td>② 赤羽駅東口・西口に、それぞれ放置自転車解消のための駐輪スペースを確保する。 駐輪スペースの確保率=(27年度の駅前駐輪場の整備台数)/(平成22年度時点での、駅前放置自転車の台数約1200台) (%)</td> <td>0%</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値	中間目標値	最終目標値	(H23当初)		(H27末)	① 自転車・歩行者通行の安全性を確保するための歩道幅など、バリアフリー化された道路の割合を算出する。 道路のバリアフリー化率=(27年度の道路整備延長)/(最終目標の道路整備延長300m) (%) ※北区基本計画2010で、赤羽台団地の建替えに合わせた周辺道路の目標整備量を定めている。	0%	-	100%	※バリアフリー化された道路：車いす同士がすれ違える、歩道幅員2m以上を確保した道路と定義する。 ※赤羽台のもり公園整備事業による、地区内人口一人当たりの公園面積。7.24㎡/人→8.31㎡/人(効果の発現は次期計画)	② 赤羽駅東口・西口に、それぞれ放置自転車解消のための駐輪スペースを確保する。 駐輪スペースの確保率=(27年度の駅前駐輪場の整備台数)/(平成22年度時点での、駅前放置自転車の台数約1200台) (%)	0%	-	100%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																										
	当初現況値	中間目標値	最終目標値																											
	(H23当初)		(H27末)																											
① 自転車・歩行者通行の安全性を確保するための歩道幅など、バリアフリー化された道路の割合を算出する。 道路のバリアフリー化率=(27年度の道路整備延長)/(最終目標の道路整備延長300m) (%) ※北区基本計画2010で、赤羽台団地の建替えに合わせた周辺道路の目標整備量を定めている。	0%	-	100%	※バリアフリー化された道路：車いす同士がすれ違える、歩道幅員2m以上を確保した道路と定義する。 ※赤羽台のもり公園整備事業による、地区内人口一人当たりの公園面積。7.24㎡/人→8.31㎡/人(効果の発現は次期計画)																										
② 赤羽駅東口・西口に、それぞれ放置自転車解消のための駐輪スペースを確保する。 駐輪スペースの確保率=(27年度の駅前駐輪場の整備台数)/(平成22年度時点での、駅前放置自転車の台数約1200台) (%)	0%	-	100%																											
全体事業費	合計(A+B+C)	6,024	A	6,024	B	0	C	0	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	0.0%																				

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
北区社会資本総合整備計画事後評価検討会設置（平成27年度）		平成28年度 公表の方法 北区ホームページ掲載、窓口閲覧（北区まちづくり推進課）

1. 交付対象事業の進捗状況

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	東京都北区	直接	東京都北区	—	—	赤羽台周辺地区住宅市街地総合整備事業	住宅市街地の整備 99.4ha	北区						3,153	
合計																3,153	
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C 効果促進事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名(港湾・地区名)	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考	
										H23	H24	H25	H26	H27			
合計																0	
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・団地西側区道の整備により、バリアフリー化された歩車分離道路が整備され、小学校などの教育施設と住宅団地を結ぶ安全な歩行者交通ネットワークの整備が進められた。また、当該路線の整備に伴って実施された、沿道の既存擁壁の後退整備により、小学校の校庭に面していた法面の安全性向上等も図られた。 ・北区画街路第3号線の事業認可（平成25年度）を起点とする継続的な事業推進並びに用地折衝により、沿道の老朽建物の解体や更新が促進された。また、用地買収後に道路状の空間が確保されたことより、火災に対する市街地の安全性の向上が図られた。 ・団地建替え事業の進捗に伴い、更新建物との合築による地区内の区立保育園の更新整備が完了したことにより、居住水準の向上とともに子育てのしやすい環境整備が進められた。 											
II 定量的指標の達成状況	指標①（道路のバリアフリー化率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	計画路線に含まれる、北区画街路第3号線については、「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の発生に伴う測量基準点の改測作業に時間を要したため、平成25年度に事業認可を取得し事業推進を図ることとなった。また、団地西側区道の残区間に関しては、補助第86号線と接続することから、事業の進捗調整が必要となった。							
		最終実績値	46.6%									
	指標②（駐輪スペースの確保率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因		赤羽駅東口・西口の駐輪スペース整備については、平成25年度に駅周辺の自転車駐車場に係る基礎調査を実施し、平成27年度から赤羽駅周辺自転車駐車場整備基本計画の策定作業を進めているが、赤羽駅前周辺の交通ネットワークの再編等も考慮した事業調整が必要なことから、計画期間内の施設整備目標の達成には至らなかった。一方で、短期的な駅前の放置自転車対策として、区の単独事業による、周辺へのコイン式駐輪施設の設置や既存駐輪場の改修による駐輪施設の増設等を進めている。						
		最終実績値	0%									
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	赤羽台団地建替え事業の進捗に伴う土地利用転換により、地区内の都市計画公園として、赤羽台のもり公園を新規事業として追加したことで、赤羽台周辺地区におけるスポーツやレクリエーション機能の維持・向上が図られるとともに、緑豊かで潤いのある住環境の整備による、都市環境の向上と災害時の避難空間として防災機能の充実が見込まれる。								
	最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模団地の建替えを契機として、にぎわいの拠点に近接する区域にふさわしい土地利用の誘導や緑豊かで良好な住環境の維持・増進を図るために、赤羽台地区に地区計画の都市計画決定を行い、旧赤羽台団地東側の区域を、「教育・文化地区」として位置付け大学の誘致を決定した。これにより、昼間人口の増加による地域の活性化と赤羽駅前周辺の更なるにぎわいの創出が見込まれる。 											

3. 特記事項(今後の方針等)

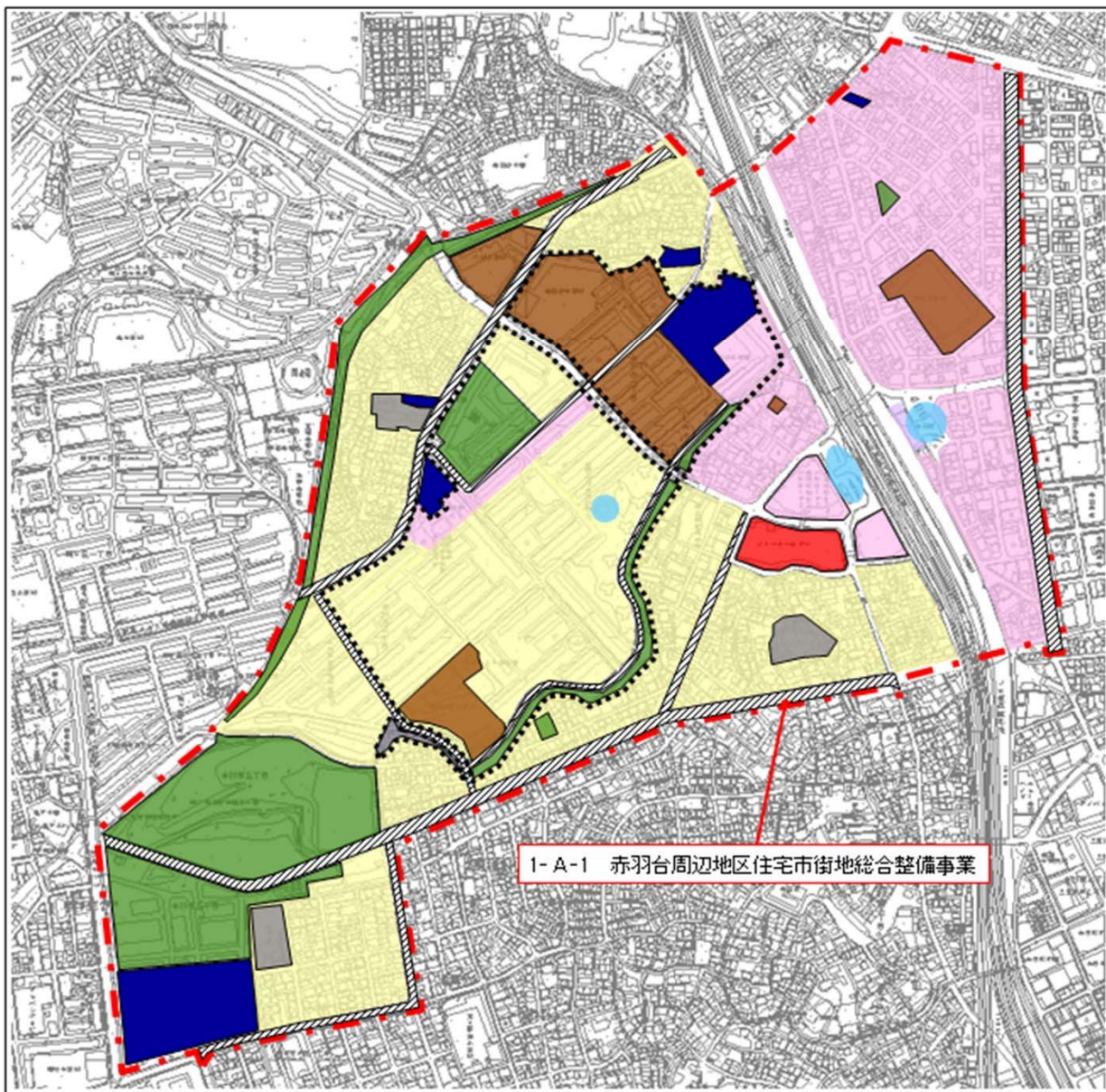
・平成32年度に開設を予定している、赤羽台のもり公園の供用開始や都市再生機構の団地建替え事業の進捗と合わせた基盤整備等により、更なる居住環境の向上が見込まれる。今後もファミリー層の流入や定住化の促進を図るため、活力と魅力ある美しい市街地環境の形成及び快適で安全な居住環境を創出を目指す。

(参考様式3)

計画の名称	赤羽台周辺地区における良好な住宅市街地の整備		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度 (5年間)	交付対象	東京都北区【赤羽台周辺地区】

■整備地区計画図

全体計画図



- 住宅用地
- 複合用地
- 商業・業務用地
- 教育施設
- 公益施設(既存)
- 公益施設(計画)
- その他
- 公園・緑地
- 道路(計画)
- 主要な街区
- 整備地区

